

薬事情報やまなし

一般社団法人 山梨県薬剤師会
薬事情報センター

- 薬事情報センターからのお知らせ 【P 1】
 - 薬と健康の週間における事業の実施について
 - 患者からの医薬品副作用報告に関する広報の周知について
 - 独立行政法人医薬品医療機器総合機構が実施する健康被害救済制度に関する集中広報について
 - 定期購読から
 - 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業について

- 日本薬剤師会からのお知らせ 【P 8】
 - 「薬と健康の週間」に関連した広報活動について
 - 日薬ニュース

- 医療保険委員会からのお知らせ 【P 9】
 - 禁煙外来（保険適用）受診医療機関一覧
（ニコチン依存症管理料の施設基準届出済み医療機関一覧）

- 医療安全性情報No. 214 【P 11】

薬事情報センターからのお知らせ

○薬と健康の週間における事業の実施について

本年度も10月17日から23日までの1週間にわたり「薬と健康の週間」が実施されます。今年度は山梨県薬事衛生大会と健康を守るくすり展を令和6年10月19日（土）に笛吹市スコレーセンターにて実施を予定しています。また、薬物乱用防止作品の表彰・展示を行います。

① 山梨県薬事衛生大会

日 時：令和6年10月19日（土） 午後2時～午後4時30分

会 場：笛吹市スコレーセンター 集会室

記念講演 午後3時～

演 題：「笑い与健康」

講 師：桂 三扇 氏

しらゆり幼稚園によるキンダー鼓隊の演奏等を予定しております

② 健康を守るくすり展

日時：令和6年10月19日（土） 午前11時～午後3時

会場：笛吹市スコレーセンター アートギャラリー

イベント内容：薬物乱用防止ポスターコンクール作品展示、健康測定コーナー、お薬相談、キッズ体験コーナー

薬と健康の週間

薬事衛生大会

午後2時～ 各種表彰式
午後3時～ 記念講演 **「笑い与健康」**

講師 **桂 三扇** 氏
甲南女子大学在学中の平成4年に桂三枝（六代桂文枝）に入門。
上方では、露の都、桂あやめに次ぐ女流落語家として、落語、講演、司会で活躍中。
上方落語協会女性部「上方笑女隊」メンバー。
第8回天満天神楽亭大賞創作賞受賞。

健康を守るくすり展

午前11時～ **「薬物乱用防止」ポスターコンクール** 作品展示
健康測定コーナー **薬と健康に関する展示**
お薬相談 **キッズ体験コーナー**

10月19日(土)

場 所 笛吹市スコレーセンター
参加費 無料

申込・問合せ先 一般社団法人山梨県薬剤師会 TEL 055-254-3400
主催 山梨県・山梨県薬と健康の週間実行委員会
後援 山梨日日新聞社・NHK甲府放送局・山梨放送・テレビ山梨・奥山梨新報社（順不同）

○患者からの医薬品副作用報告に関する広報の周知について

独立行政法人医薬品医療機器総合機構（以下「PMDA」という。）では、患者からの医薬品副作用報告を受付けています。

医薬品による副作用が疑われる症例についての情報を、患者又はその家族から直接収集し、医薬品の安全対策に活用するために、本報告について広く患者、国民の皆様にご認知していただく必要があることから、PMDAにおいて広報資料が作成されています。

ピー・エム・ディー・イー **Pmda** 薬の副作用が出たら、
Pmdaにお知らせください

患者副作用報告

詳細は
患者副作用報告 検索

※「医薬品副作用被害救済制度」による給付金請求は患者副作用報告とは別の手続きが必要です。
詳細は [医薬品副作用被害救済制度](#) [検索](#) からご確認ください。

独立行政法人 **Pmda** 医薬品医療機器総合機構

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

○独立行政法人医薬品医療機器総合機構が実施する健康被害救済制度に関する集中広報について

独立行政法人医薬品医療機器総合機構では、健康被害救済制度について医薬品の副作用等で健康被害に遭われた方々が適正かつ迅速に救済給付を受けるため、毎年10月から12月までの約3か月間を「健康被害救済制度集中広報期間」として、本制度の認知度・理解度の一層の向上を目的としたキャンペーンが展開されます。

集中広報の実施内容

- ・新聞の全国紙への広告掲載
- ・著名人を使った全国でのテレビCM
- ・大手インターネットメディアを活用した制度の紹介動画やWEB広告の配信
- ・病院や薬局のビジョンを使用した動画放映
- ・医療関係の専門誌や学会誌への広告掲載など

また、医薬品医療機器総合機構では、医療関係者の皆様に救済制度への理解を深めていただき、制度を必要とする患者さんと制度との橋渡し役となっただけできるよう、医療機関や自治体等に職員を講師として派遣し、救済制度に関する講演（出前講座）が行われています。

さらに、出前講座の内容をオンラインで受講できるeラーニングを医薬品副作用被害救済制度の特設サイトが開設されております。

広報資料 (<https://www.pmda.go.jp/relief-services/adr-sufferers/0001.html>)

出前講座 (<https://www.pmda.go.jp/relief-services/adr-sufferers/0051.html>)

eラーニング (https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/general06.html)

医薬品
副作用被害
救済制度

お薬を使うときに思い出ししてください。

お薬は正しく使っても、副作用の起る可能性があります。万一、入院治療が必要になるほどの健康被害がおきたとき、医療費や年金などの給付をおこなう公的な制度があります。いざという時のために、暮らしに欠かせないお薬だからあなたもぜひ知っておください。

PMDA 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

救済制度相談窓口 ☎ 0120-149-931

詳しくは [副作用](#) [救済](#) または [PMDA](#) [検索](#)

○定期購読から

薬事情報センターで定期購読している雑誌の目次を一部掲載したものです。
貸し出し、FAX、コピー等ではできませんので、事務局にて閲覧をお願いします。



月刊薬事 2024 Vol.66No.12

【特集】臨床での疑問に答える

統計データの読み方、使い方

- ・基礎編：もう一度おさらい！統計データの読み方
 - ・仮説検定ってなに？と聞かれたら
 - 統計学的仮説検定の種類、統計量の尺度 etc
- ・実践編：ケーススタディから学ぶ臨床での問題・疑問へのアプローチ
- ・挑戦篇：臨床で見つけた疑問を研究につなげるためのお作法

◇振り返れば国試

- ・慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者の服薬指導で知っておくべきポイントは？



調剤と情報 2024 Vol.30No.12

【特集】在宅とセルフメディケーションに活かすために知っておきたいビタミンと疾患の関連

- ・ビタミンと疾患の関わり
- ・健康の維持・増進のための脂溶性ビタミンの考え方と留意点
- ・ビタミンB₁、B₂、ナイアシン
- ・ビタミンB₆、B₁₂、葉酸
- ・ビタミンC
- ・[Pick Up] ミネラルと疾患

【今月の話題】

- ・骨太の方針2024、規制改革実施計画について



薬局 2024 Vol.75No.10

【特集】剤形蘊蓄

コツコツ学ぶ、あしたの“剤テク”

- ・直面する疑問から学ぶ「経口剤」の剤テク
 - ・錠剤を粉砕するとどのくらいロスするの？
 - ・錠剤に「リン」が入ってるって本当？
 - ・先発医薬品とジェネリック医薬品で、一包化・粉砕の可否に違いはあるの？ etc
- ・直面する疑問から学ぶ「外用剤・注射剤」の剤テク
 - ・貼付剤は切断してもよいの？
 - ・成人と高齢者ではツロブテロールテープ貼付後の主成分の吸収は同等なの？
 - ・同一成分でも剤形によって使用回数が異なるのはなぜ？ etc

○薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業について

医療安全対策委員会では、標記事業の参加登録の推進を行っております。共有すべき事例2024年No. 7が公開されています。













日本医療機能評価機構ホームページからご覧いただけます。

<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>

参加登録及び事例報告をお願いいたします。

共有すべき事例 2024年No. 7

事例1 調剤に関する事例【インスリンペン型注入器の確認不足】

事例	<p>【事例の詳細】 患者の処方が、前回、ヒューマログ注カートからインスリンリスプロBS注カートHU「サノフィ」に変更になったが、今回さらにインスリンリスプロBS注ソロスターHU「サノフィ」に変更になった。薬剤師はカートリッジ製剤がプレフィルド製剤に変更になった理由を患者に確認した。患者は以前、ヒューマログ注カートをペン型注入器のヒューマペンサビオに装着して使用していたが、前回処方されたインスリンリスプロBS注カートHU「サノフィ」をヒューマペンサビオに装着したところ液漏れしたため、処方医に相談し、プレフィルド製剤に切り替えたことが判明した。薬剤師は、インスリンリスプロBS注カートHU「サノフィ」は、患者の所有するヒューマペンサビオとは不適合であることに気付いた。</p> <p>【背景・要因】 ヒューマログ注カートからインスリンリスプロBS注カートHU「サノフィ」に変更した際に、ペン型注入器をヒューマペンサビオからイタンゴに変更する必要があったが、医療機関から患者にイタンゴは提供されなかった。当薬局ではインスリンカートリッジ製剤を取り扱う機会が少なく、薬剤師はペン型注入器を変更する要性を認識していなかった。患者は、ヒューマペンサビオにインスリンリスプロBS注カートHU「サノフィ」が正しく装着できるものと思い込んでいた。</p> <p>【薬局から報告された改善策】 インスリンカートリッジ製剤とペン型注入器は正しい組み合わせで使用するため、インスリンカートリッジ製剤が処方された際は、患者が所有しているペン型注入器と薬剤が正しい組み合わせであることを確認するよう、スタッフに周知した。</p>															
その他の情報	<p>製品の画像</p> <table border="1" data-bbox="399 1523 1316 1848"> <tr> <td></td> <td>ヒューマログ注カート</td> <td>インスリン リスプロBS注カートHU「サノフィ」</td> </tr> <tr> <td>カートリッジ製剤</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ヒューマペンサビオ（銀色）</td> <td>イタンゴ（ブラック）</td> </tr> <tr> <td>ペン型注入器（色違い有）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>製造販売業者</td> <td>日本イーライリリー株式会社</td> <td>サノフィ株式会社</td> </tr> </table> <p>日本イーライリリー株式会社、サノフィ株式会社のホームページより引用（2024年5月27日参照）</p>		ヒューマログ注カート	インスリン リスプロBS注カートHU「サノフィ」	カートリッジ製剤				ヒューマペンサビオ（銀色）	イタンゴ（ブラック）	ペン型注入器（色違い有）			製造販売業者	日本イーライリリー株式会社	サノフィ株式会社
	ヒューマログ注カート	インスリン リスプロBS注カートHU「サノフィ」														
カートリッジ製剤																
	ヒューマペンサビオ（銀色）	イタンゴ（ブラック）														
ペン型注入器（色違い有）																
製造販売業者	日本イーライリリー株式会社	サノフィ株式会社														
事例のポイント	<ul style="list-style-type: none"> インスリンカートリッジ製剤を患者に交付する際、薬剤師は患者の所有するペン型注入器と薬剤が正しい組み合わせであることを確認することが重要である。 															

	<ul style="list-style-type: none"> ・インスリンリスプロBS注カートHU「サノフィ」は、ヒューマログ注カートのバイオ後続品（バイオシミラー）であるが、製造販売業者が異なるため、適合するペン型注入器は異なることに注意が必要である。 ・2021年10月に製薬企業から、インスリンカートリッジ製剤とペン型注入器を間違った組み合わせで使用したことにより、低血糖や高血糖などの副作用が生じたとの注意喚起が発信されている※。 ※インスリンカートリッジ製剤とインスリンペン型注入器の組み合わせ指導について（参照2024年5月27日） ・インスリン製剤は生命に直結する薬剤である。インスリンカートリッジ製剤とペン型注入器は、標準規格を取り決め、どの製薬企業のカートリッジ製剤とペン型注入器を組み合わせても安全に使用できるようにすることが望まれる。
--	---

事例2 疑義照会・処方医への情報提供に関する事例【名称類似薬の処方間違い】

事例	<p>【事例の詳細】 当薬局が担当している施設へ入所した患者の処方箋を初めて応需した。処方箋にはグルコン酸カルシウム水和物が記載されていた。グルコン酸カルシウム水和物は処方元の医療機関から処方されたことがない薬剤であり、処方頻度が高いグルコン酸カリウムと名称が類似していることから、薬剤師は処方間違いを疑った。患者が入所している施設に確認を行ったところ、患者の処方履歴から、以前よりグルコンサンK細粒4mEq/gが処方されていたことがわかった。薬剤師が処方医に疑義照会を行ったところ、グルコン酸カルシウム水和物はグルコンサンK細粒4mEq/gに変更となった。</p> <p>【推定される要因】 患者に薬剤を処方する医療機関が変更になっていた。処方医は、前医の処方内容を転記する際に、入力を間違えた可能性がある。</p> <p>【薬局での取り組み】 「グルコンサン」から始まる薬剤には「カリウム」と「カルシウム」の2種類があることを薬局内で周知する。今回の薬剤の組み合わせの他にも、名称が類似する薬剤は多数あり、処方内容に違和感があった際には疑義照会を行う。</p>														
その他の情報	<table border="1"> <tr> <td>商品名</td> <td>カルチコール末※</td> <td>グルコンサンK細粒4mEq/g</td> </tr> <tr> <td>有効成分</td> <td>グルコン酸カルシウム水和物</td> <td>グルコン酸カリウム</td> </tr> <tr> <td>効能又は効果</td> <td>低カルシウム血症に起因する下記症状の改善 テタニー、テタニー関連症状 小児脂肪便におけるカルシウム補給</td> <td>低カリウム状態時のカリウム補給</td> </tr> <tr> <td>用法及び容量</td> <td>グルコン酸カルシウム水和物として、通常成人1日1～5gを3回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</td> <td>1回カリウム10mEq相当量 1日3～4回経口投与。症状により適宜増減する。</td> </tr> </table> <p>※経過措置満了日は2025年3月31日。（2024年5月27日現在）</p>	商品名	カルチコール末※	グルコンサンK細粒4mEq/g	有効成分	グルコン酸カルシウム水和物	グルコン酸カリウム	効能又は効果	低カルシウム血症に起因する下記症状の改善 テタニー、テタニー関連症状 小児脂肪便におけるカルシウム補給	低カリウム状態時のカリウム補給	用法及び容量	グルコン酸カルシウム水和物として、通常成人1日1～5gを3回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。	1回カリウム10mEq相当量 1日3～4回経口投与。症状により適宜増減する。		
商品名	カルチコール末※	グルコンサンK細粒4mEq/g													
有効成分	グルコン酸カルシウム水和物	グルコン酸カリウム													
効能又は効果	低カルシウム血症に起因する下記症状の改善 テタニー、テタニー関連症状 小児脂肪便におけるカルシウム補給	低カリウム状態時のカリウム補給													
用法及び容量	グルコン酸カルシウム水和物として、通常成人1日1～5gを3回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。	1回カリウム10mEq相当量 1日3～4回経口投与。症状により適宜増減する。													
事例のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・処方オーダーの際は、薬剤名の読み仮名の最初の3文字を入力し、検索された薬剤群から処方する薬剤を選択することが多い。グルコン酸カルシウム水和物とグルコン酸カリウムは、読み仮名の最初の7文字が一致しているため、処方入力の間違いが起きやすい組み合わせである。 ・本事例は、処方医が薬剤を間違えて選択した可能性があると考えた薬剤師が、疑義照会を行った事例である。処方する医師や医療機関が変更になる場合は、名称類似などによる処方間違いの可能性を考慮して、処方監査を行う必要がある。 														

	<ul style="list-style-type: none"> ・処方する医師や医療機関が変更になった場合は、「薬剤サマリー」「退院時服薬情報提供書」「お薬手帳」「検査値」などの情報を医療機関、施設などと共有し、その情報をもとに処方監査を行うことが重要である。
--	--

事例3 疑義照会・処方医への情報提供に関する事例【薬剤の組成・性状】

事例	<p>【事例の詳細】 カムシア配合錠LD「ニプロ」1回1錠が処方されていた患者の血圧が低くなったため、今回から1回0.5錠に変更された。カムシア配合錠LD「ニプロ」は割線がない配合錠であるため、薬剤師が製薬企業に確認したところ、半錠に分割した場合の有効成分の均一性は保証できないとの回答を受けた。処方医と検討した結果、カムシア配合錠LD「ニプロ」1回0.5錠はプロプレス錠4 1回1錠、アムロジピン錠2.5mg 1回0.5錠に変更になった。</p> <p>【推定される要因】 配合錠を分割した場合の有効成分の均一性について、処方医の認識が不足していたと思われる。</p> <p>【薬局での取り組み】 薬剤師は薬剤に関する情報を収集し、薬剤ごとの特性を理解したうえで、処方医と情報を共有する。</p>					
その他の情報	<p>カムシア配合錠LD「ニプロ」の添付文書2023年11月改訂(第1版)(一部抜粋)</p> <p>3. 組成・性状</p> <p>3.1 組成</p> <table border="1" data-bbox="395 987 1326 1167"> <tr> <td rowspan="2">有効成分</td> <td>1錠中 日本薬局方 カンデサルタン シレキセチル8mg</td> </tr> <tr> <td>1錠中 日本薬局方 アムロジピンベシル酸塩3.47mg (アムロジピンとして2.5mg)</td> </tr> </table> <p>3.2 製剤の性状</p> <table border="1" data-bbox="395 1234 1326 1272"> <tr> <td>性状</td> <td>淡黄色の素錠</td> </tr> </table>	有効成分	1錠中 日本薬局方 カンデサルタン シレキセチル8mg	1錠中 日本薬局方 アムロジピンベシル酸塩3.47mg (アムロジピンとして2.5mg)	性状	淡黄色の素錠
有効成分	1錠中 日本薬局方 カンデサルタン シレキセチル8mg					
	1錠中 日本薬局方 アムロジピンベシル酸塩3.47mg (アムロジピンとして2.5mg)					
性状	淡黄色の素錠					
事例のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的に、配合錠は1錠中に有効成分が均等に分布されておらず、分割すると各々の有効成分の含量が不均等になるため、原則として分割は不可である。 ・配合錠の半錠・粉砕の可否について、添付文書に記載されている内容から判断することが難しい場合は、製薬企業から情報収集を行うなどして、製剤の特性を理解し、半錠・粉砕の可否について検討を行う必要がある。 ・本事業には、カムシア配合錠LD以外にも、セレスタミン配合錠、トラベルミン配合錠、トラムセット配合錠、ミコンビ配合錠AP/BP、レザルタス配合錠LD/HDなどの割線がない配合錠が半錠で処方されたため、疑義照会や処方医へ情報提供を行った事例が報告されている。 					

日本薬剤師会からのお知らせ

○「薬と健康の週間」に関連した広報活動について

日本薬剤師会では、「薬と健康の週間」に関する活動の一環として、薬剤師職能や薬局機能に関する国民向け広報としてPR記事1～2を毎日新聞全国版に掲載いたします。

また、新聞紙面での広報に併せ、10月17日より約4週間の間、Web上のニュースサイト「毎日新聞」にPR記事1～3が掲載され、記事閲覧者が日本薬剤師会ホームページの関連コンテンツへのアクセスを誘導する広報も実施されます。

なお、これらの記事は、日本薬剤師会ホームページの「メディア掲載情報」にも掲載されます。

1. 毎日新聞全国版（朝刊）への国民向けPR記事連載
 - ・テーマ「薬剤師・薬局の上手な活用法」
 - 第1回 10月 7日（月） 薬剤師はあなたの健康をサポートします
 - 第2回 10月14日（月） 薬局でも医療DXが進んでいます！
 - 第3回 10月21日（月） 薬剤師によるフォローアップ、ご存じですか
 - 第4回 10月28日（月） 薬剤師と考える災害への備え
2. 毎日新聞全国版（朝刊）「薬と健康の週間」企画紙面
掲載日：10月17日（木）
出演者：日本薬剤師会 富永孝治常務理事
内 容：一般用医薬品等の適正使用、健康サポート薬局等
3. ニュースサイト「毎日新聞」に掲載
公開日：10月17日（木）予定
Webオリジナル版のPR記事
 - 第5回 子供たちの健康を見守る学校薬剤師
 - 第6回 アンチ・ドーピング活動をする薬剤師

○日薬ニュース

【第301号】

- ・10月1日より、長期収載品の選定療養がスタート
- ・日薬「薬剤師による心不全服薬管理指導の手引き第1版」を公表
- ・【学校薬剤師の皆様へ】全国学校保健調査（WEB形式）ご協力をお願い
- ・第57回日薬学術大会（埼玉大会）開催迫る
- ・花蓮県薬剤師会より台湾大地震義援金の感謝状を受領

禁煙外来（保険適用）受診医療機関一覧

（ニコチン依存症管理料の施設基準届出済み医療機関一覧）

甲府市

あきやま医院	東下条町 80-2
今井循環器呼吸器科	住吉 1-10-4
大久保内科呼吸器科クリニック	丸の内 1-19-18
おかだ内科クリニック	北口 2-9-12 ニシコ -北口駅前ビル 2F
小沢耳鼻咽喉科アレルギー科クリニック	朝日 1-8-13
内科小児科小野医院	貢川 2-2-11
くぬぎクリニック	北口 1-1-8
甲府共立診療所	宝 1-10-5
こうふサザンクリニック	徳行 2-14-26
コスモ総合診療所	甲府市塩部 1-81-1
斉藤内科循環器科医院	国母 8-26-13
順聖クリニック	湯村 1-5-19
医療法人慈光会 甲府城南病院	上町 753-1
市立甲府病院	増坪町 366
住吉病院	住吉 4-10-32
心療内科たけうちクリニック	国母 7-5-17 サンライ ン甲府ビル 2A
塚原整形外科	丸の内 2-9-14
露木耳鼻咽喉科医院	中央 4-9-2
医療法人仁明会ながまつ医院	宮原町 88-1
東甲府医院	桜井町 299
ひろクリニック	中小河原 1-9-12
深澤内科クリニック	国母 5-19-18
ふじ内科クリニック	緑ヶ丘 1-4-16
藤原医院	塩部 4-15-16
古川内科・皮フ科	国母 1-4-8
望月クリニック	塩部 4-16-2
山梨県厚生連健康管理センター	飯田 1-1-26
山梨県立中央病院	富士見 1-1-1
湯村温泉病院	湯村 3-3-4
横田内科小児科医院	上石田 2-30-44
楽天堂内科整形外科	朝気 1-1-29

笛吹市

磯山医院	石和町四日市場 2031-106
一宮温泉病院	一宮町坪井 1745
弦間医院	一宮町末木 864-2
医療法人銀門会甲州リハビリテーション病院	石和町四日市場 2031-25
境川診療所	境川町石橋 2207-1
三枝クリニック	石和町河内 37-2
清水内科クリニック	石和町駅前 6-2
しむら医院	石和町東高橋 131
医療法人康麗会笛吹中央病院	石和町四日市場 47-1
医療法人博友会 三科医院	春日居町桑戸 698-1
望月内科クリニック	御坂町井之上 819-1

山梨市

飯島医院	小原西 5
加納岩総合病院	上神内川 1309
坂の上クリニック	東後屋敷 986-8
山梨市立牧丘病院	牧丘町窪平 302-2

甲州市

池田内科小児科医院	勝沼町勝沼 2961
甲州市大藤診療所	塩山上粟生野 13-1
甲州市立勝沼病院	勝沼町勝沼 950
松里診療所	塩山三日市場 1982-1

韮崎市

いいのクリニック	本町 2-14-15
岩下内科医院	若宮 1-2-50 韮崎市 民交流センター3F
たのくらクリニック	藤井町南下条 338
韮崎市国民健康保険韮崎市立病院	本町 3-5-3

北杜市

中田医院 中国医学研究所	須玉町若神子 608
北杜市立白州診療所	白州町白須 1341
北杜市国保辺見診療所	明野町上手 1-12
武川診療所	武川町牧原 1371

甲斐市

くろだ小児科・耳鼻科	西八幡 1939-2
小山医院	島上条 492-1
敷島クリニック	中下条 246
清水内科循環器科医院	篠原 1429-1
中沢クリニック	竜王 3091-1
原口内科・腎クリニック	篠原 2975-1
内科・呼吸器内科 保坂クリニック	竜王新町 2298-6
竜王ファミリークリニック	富竹新田 1757-1

昭和町

あいのた内科消化器科クリニック	中西条 1481-2
風間内科医院	押越 916-1
昭和メディカルクリニック	飯喰 404-2
森川医院	河東中島 1903

中央市

きたむらクリニック	若宮 23-2
玉穂ふれあい診療所	成島 2439-1
西野内科医院	山之神 2389-1
若葉クリニック	浅利 1686-2

南アルプス市

こうの内科クリニック	桃園 1688-3
巨摩共立病院	市桃園 340
笹本クリニック	下宮地 433-1
白根なかざわクリニック	在家塚 52-6
白根徳洲会病院	西野 2294-2
まつざきクリニック	下宮地 624

富士川町

峡南医療センター企業団 富士川病院	鯉沢 340-1
----------------------	----------

身延町

身延町早川町国民健康保険 一部事務組合立飯富病院	飯富 1628
-----------------------------	---------

南部町

南部町国民健康保険診療所	南部 8050-1
--------------	-----------

市川三郷町

医療法人啓徹会市川メディ カルクリニック	高田 518-1
溝部医院	市川大門 1235

大月市

地方独立行政法人 大月市 立中央病院	大月町花咲 1225
稚枝子おおつきクリニック	大月 1-8-5
武者医院	大月 1-15-18

都留市

都留市立病院	つる 5-1-55
東桂メディカルクリニック	十日市場字名主目 958-1

上野原市

上野原市立病院	上野原 3504-3
---------	------------

富士吉田市

医療法人大田屋会 大田屋 クリニック	上吉田 5-8-3
医療法人和彦会 くわざわ クリニック	上吉田 2-13-2
新西原クリニック	上吉田 4259-2
高田内科クリニック	上吉田 4203-2
富士の森クリニック	上吉田 7-12-14
樂天堂整形外科	上吉田 2-5-1 富士急 ターミナルビル 5階

富士河口湖町

かわぐち湖ファミリークリ ニック	小立 4115-1
山梨赤十字病院	船津 6663-1

鳴沢村

なるさわクリニック	鳴沢村 2126-1
-----------	------------

※この一覧は、あくまでもニコチン依存症管理料の施設基準届出済み医療機関確認のための参考資料として使用してください。

※医療機関から発行された該当処方せんの備考欄には、保険適用の根拠として「ニコチン依存症管理料の算定に伴う処方である。」と必ず記載されています。

(平成18年6月1日付 保医発第0601001号 厚生労働省保険局医療課長通知、(2)の①に記載)

万が一記載がない場合には、必ず医療機関へ疑義照会が必要となりますので取扱いの徹底をお願いします。



WHO 世界患者安全の日(9月17日)にちなみ、
今月はテーマカラーのオレンジ色にしました。



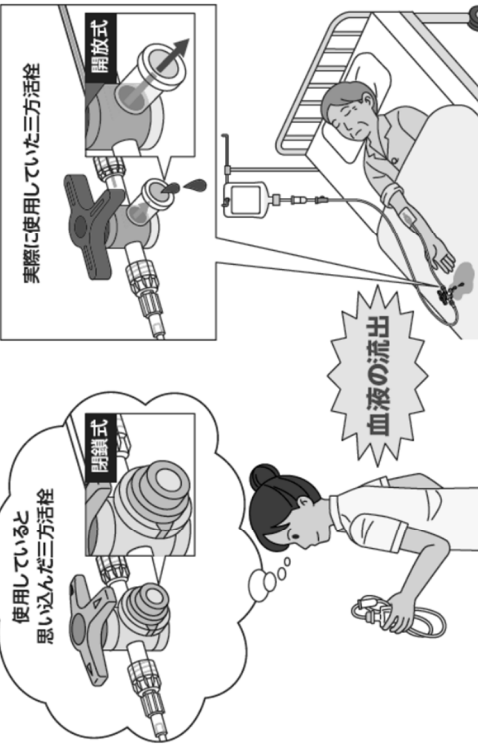
厚生労働省のホームページ

開放式の三方活栓の誤った取り扱い

開放式の三方活栓を、閉鎖式の三方活栓と同様に取り扱ったため、輸液ラインから出血や薬液漏れが起きた事例が報告されています。

2020年1月1日～2024年7月31日に7件の事例が報告されています。この情報は、第75回報告書(分析テーマ)で取り上げた内容をもとに作成しました。

事例のイメージ



開放式の三方活栓の誤った取り扱い

事例1

当該医療機関の手術室では開放式の三方活栓、病棟では閉鎖式の三方活栓を使うことになっている。患者が手術室から病室した際、病棟看護師は開放式の三方活栓のうち一つを閉鎖式に変更し忘れた。患者の末梢静脈ラインの副管から投与していた抗生剤が終了し、副管のラインを外した際、看護師は三方活栓を閉鎖式だと思い込み、コックの向きを開放にしたままキャップをせず、退室した。その後訪室したところ、三方活栓から血液が大量に流出しており、血圧が90mmHg台に低下していた。

事例2

院内で決められている中心静脈ラインは閉鎖式であったが、今回は別のルートが組まれており、開放式の三方活栓が付いていた。患者の中心静脈ラインの副管から投与していたアルブミン製剤が終了したため看護師は、副管のラインを外した。その際、三方活栓を閉鎖式だと思い込み、コックの向きを開放にしたままキャップをせず、退室した。その後訪室した際、患者の薬液が漏れており、三方活栓から輸液が漏れていることに気付いた。

事例が発生した医療機関の取り組み

- 輸液ラインや注射器を外す際は、三方活栓が開放されていないことを確認する。

上記は一例です。自施設に合った取り組みを検討してください。

取り組みのポイント

- 部署・病棟で使用している三方活栓や輸液ルートの種類を周知しましょう。

(総合評価部会)

* この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をもとに、本事業の一環として総合評価部会委員の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。本事業の趣旨等の詳細については、本事業ホームページをご覧ください。 <https://www.med-safe.jp/>
* この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。
* この情報は、医療事故事例の救済や利便性向上、医療従事者に業務や責任を軽減する目的で作成されたものではありません。



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0252(直通) FAX：03-5217-0253(直通)
<https://www.med-safe.jp/>